

2013年（平成25年）8月30日

沖縄県 八重山農林水産振興センター
農林水産整備課長 殿
竹富町
農林水産課長 殿

（写しの送付先）

環境省那覇自然環境事務所
林野庁沖縄森林管理署
沖縄県自然保護課

与那良原地区県営経営体育成基盤整備事業にかかる事業地における
イリオモテヤマネコによる利用に関する
報告及び提言

イリオモテヤマネコ生息地保全調査委員会

委員長 土肥 昭夫
（元長崎大学教授）

大原イリオモテヤマネコ研究所

所長代理 岡村 麻生
認定NPO法人 トラ・ゾウ保護基金
理事長 戸川 久美

はじめに

沖縄県は、2012年（平成24年）度において、西表島における与那良原地区県営経営体育成基盤整備事業を採択し（以下「本事業」という）、現在土地改良法に基づく法定手続が進行中である。

他方、この区域はイリオモテヤマネコによって、放浪個体の移動経路として、また開放空間である湿地も一時的なえさ場として利用されていることが知られているため、イリオモテヤマネコ生息地保全調査委員会および認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金（以下「当会ら」という）は、2013年1月8日付で「与那良原地区県営経営体育成基盤整備事業について（提言）」を貴課に提出させていただいたところである（以下「本提言」という）。ここでは、次の点を提言させていただいた。

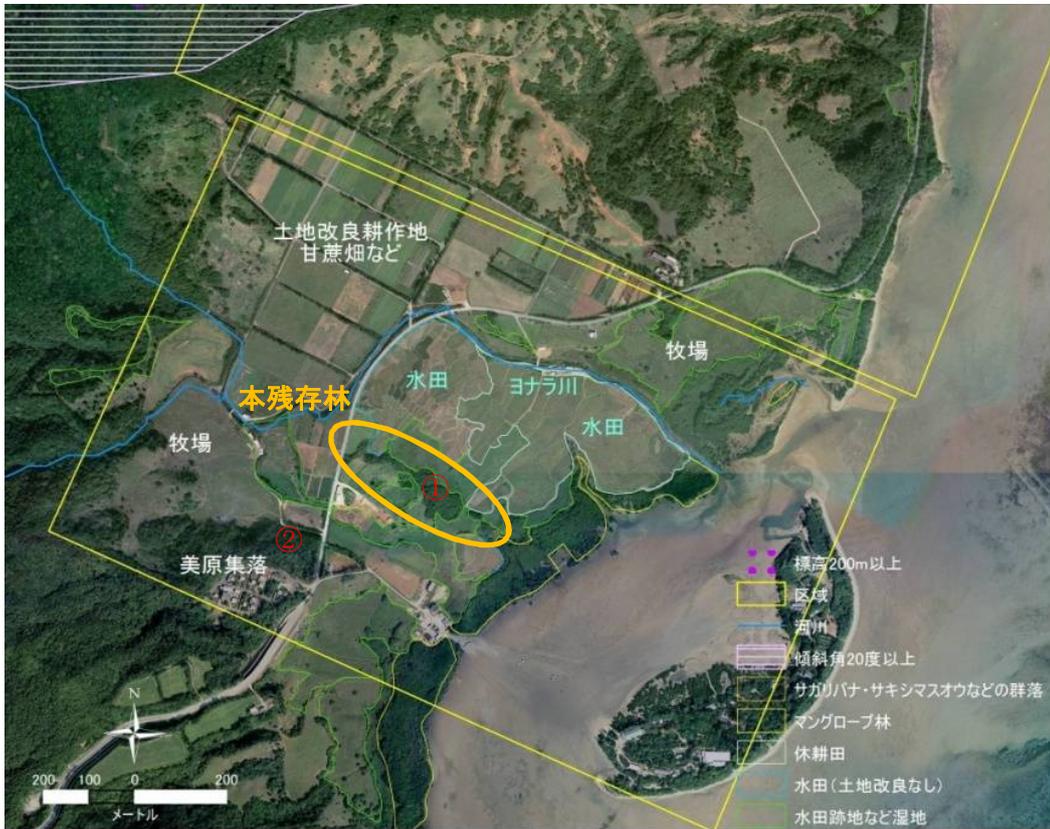
提言 1：与那良原水田と牧草地との間の谷状地形に沿った残存林*の伐採・谷状地形への盛土を可能な限り避け、県道から海岸まで一定の樹林帯が連続する状態を維持すること。

提言 2：与那良川の護岸は、イリオモテヤマネコが河床から水田に上られるよう一部を通路状の緩傾斜とし（30度以下）、さらに護岸の農道沿いに一定の植栽（丈1m以上）

を施すこと。

図1は、以下の事業地周辺を含む航空写真であるが、上記提言1にいう残存林（以下「本残存林」という）は、黄色の囲み部分を指す。

図1 本事業地周辺



その後の本年2月、本事業地の周辺において、目に異常が見られるイリオモテヤマネコ個体の目撃が頻発したため、環境省西表野生生物保護センター（以下「環境省保護センター」という）は、周辺に自動撮影カメラを設置し、イリオモテヤマネコのモニタリング（以下「本件モニタリング」という）を実施した。

そこで、当会らは、環境省保護センターの協力を得て、本件モニタリングのデータ及び美原周辺におけるイリオモテヤマネコの日撃情報の提供を受け、本事業地のイリオモテヤマネコによる利用状況を改めて分析し、提言内容を最新の状況に基づき更新することとした。

1 本件モニタリングの方法と結果

1-1 モニタリング地点

本件モニタリング地点は、図1および図2に示した①および②の2地点である。

図2 本件モニタリング地点



環境省西表野生生物保護センター作成

- ① 本残存林内に自動撮影BOXを設置（写真はすべて環境省保護センター提供）。



- ② 美原集落北の農道横の林内。県道から 100m ほど入った農道の南側の林内で農道から 10m ほど奥に自動撮影 BOX 1 台を設置（写真はすべて環境省保護センター提供）。



1-2 モニタリング期間

4 月 24 日～7 月 9 日（7 月 26 日時点で継続中）

1-3 モニタリング方法

設置した自動撮影 BOX 内のカメラに撮影されたイリオモテヤマネコを可能な限り個体識別し、どのような個体が残存林および美原集落周辺を利用しているか記録した。

1-4 結果

本件モニタリングの結果詳細は、別表 1に示した。モニタリング地点では 3 頭のイリオモテヤマネコが撮影され、少なくともモニタリング期間中にそれら 3 頭が本事業地周辺を利用していることがわかった。本残存林内のモニタリング地点で、これら 3 頭すべてが確認されている（表 1 参照）。

表 1 本残存林内におけるイリオモテヤマネコモニタリングの結果

| 個体の特徴 | オス 放浪 両目を疾病に罹患 | メス 定住 授乳中 | オス 放浪 やや老齢 |
|-------------------------|----------------------|-------------------|------------------|
| 本残存林での 自動カメラ 撮影日時 | 6月20日 9:20～9:35 | 4月24日 19:01～19:25 | 7月5日 1:40～1:47 |
| | 6月25日 11:17～11:28 | 5月18日 19:32～19:42 | |
| | 6月27日 12:07～12:08 | 5月24日 18:53～19:00 | |
| | 20:17 | 5月31日 13:34～13:45 | |
| | | 6月 1日 18:51～19:02 | |

出典:美原におけるイリオモテヤマネコのモニタリング結果(環境省西表野生生物保護センター)

図3は、4月24日のモニタリング調査開始当日に本残存林内の自動撮影カメラで撮影された個体B（定住メス。妊娠中）の写真である。

図3

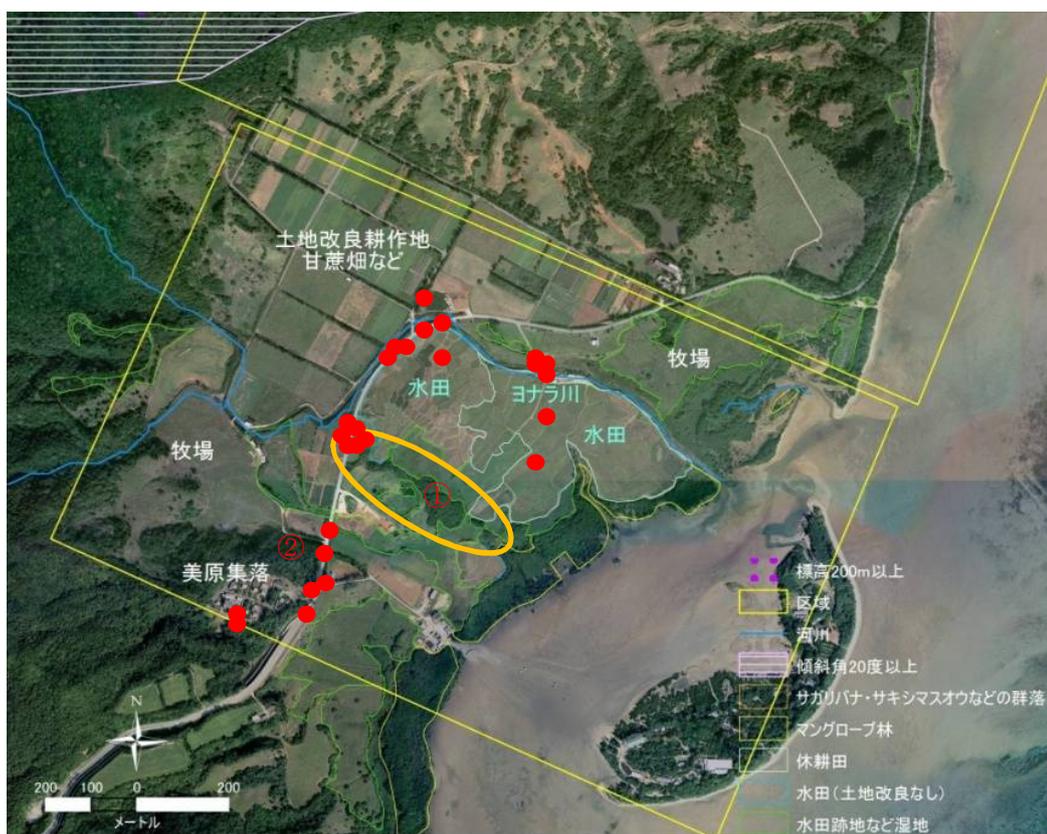


環境省西表野生生物保護センター提供

2 本事業地周辺のイリオモテヤマネコ目撃情報

環境省保護センターに寄せられた一般からのイリオモテヤマネコ目撃情報のうち、本事業地周辺に関するものを示したのが別表2、航空写真に地点を落としたものが図4である。

図4



これによれば、2013年4、5、6月の3ヶ月間に計21日、計26件の目撃がある。その中には、たとえば「由布島入口（猪狩家のほう）」から「道路上 海側の茂みに入っていった。」（6月1日）というように、本残存林に向かって道路を横断し、本残存林を利用したことがうかがわれるものも含まれている。また、地点は美原集落周辺の森林のほかは、与那良川沿いおよび本残存林が県道に接する部分に集中しており、与那良川沿いと残存林の集中的な利用が裏付けられることとなった。

3 本事業地周辺におけるイリオモテヤマネコ以外の野生動物の生息状況

本件モニタリング地点では、イリオモテヤマネコ以外の多様な野生動物が撮影されている（別表3）。特にカンムリワシ（国指定天然記念物、国内希少野生動植物種）、オオクイナ（環境省レッドリスト絶滅危惧種IB類）などの貴重種が本残存林内で撮影されていることが注目される。

4 検討：イリオモテヤマネコの本事業地の利用状況

これまで、本事業地周辺は、イリオモテヤマネコの放浪個体の移動経路として、また開放空間である湿地も一時的なえさ場として利用されていることが知られていた（イリオモテヤマネコ生息地保全調査委員会、2011）。そして、本残存林および与那良川沿いは、そこにおける移動路および隠れ場所として、前者はそれらに加えて一時滞在場所としても機能していることが推察されていた（同上）。

今回の本件モニタリングのデータ等は、上記事実を裏付けるとともに、それ以上の事実を明らかにした。すなわち、

- ・ 本件モニタリングのそもそもの対象として想定された疾病のある放浪個体は、本事業地周辺を頻繁に利用しており、本残存林や与那良川沿いとその生息を支える重要な環境となっていることが明かとなった。

このことから、与那良川沿いおよび本残存林は移動路隠れ場所ないし一時滞在場所として機能し、湿地としての水田の餌場利用をつなぐ上で、イリオモテヤマネコの生存に重要な環境となっていることが推察される。そのなかにはなわばり的な行動圏を持たない放浪個体や傷病を負ったもの、高齢なもののように、生存上不利な条件を負ったイリオモテヤマネコ個体が含まれている。

- ・ さらに、メスの定住個体が本事業地周辺を頻繁に利用していることが今回初めて確認された。このメス定住個体は本件モニタリング開始の初日に本残存林で撮影された際、妊娠中と判断され、その後の撮影において出産を終え子育てに入ったと推察されていた。出産後は、仔ネコを事業地周辺に隠し、単独で餌を採るために本事業地内の水田ないし事業地と隣接する海岸林を訪れていると推察される。そして、本残存林は、その際の移動路、隠れ場所として、与那良川沿いは移動路として、常時使用されているものと考えられる。今後仔ネコがある程度成長すれば、仔ネコを与那良川や本残存林を通して本事業地内まで伴い、また本残存林を仔ネコの隠れ場所として利用する可能性もある。このような環境が失われ

れば、親ネコの生存及び仔ネコの生育に少なからず支障が及ぶおそれは否定できない。

本事業地内でイリオモテヤマネコの定住メスが繁殖していることが確認された以上、本事業地のイリオモテヤマネコの生息環境としての重要性は、これまで考えられていた以上に高いことが判明した。西表島の低地域全体でイリオモテヤマネコのメスの定住個体が減少しているなか、低地域におけるこれ以上の生息環境の劣化は防ぐべきであるとの提言がなされており（琉球大学 2008）、本事業地でも最大限の配慮が求められる。

- ・これまで、本事業地周辺で発生したイリオモテヤマネコの交通事故は少なくない。

ここ3年で見ても、2010年2月14日に与那橋東で、同年5月12日に美原牧場サイロ入口で、本年5月14日と8月24日には、野原崎の展望台付近で交通事故が発生している（環境省報道発表資料等）。

そして本年6月26日においては、上記、本残存林で自動撮影されたメス定住個体が出産したと思われる仔ネコ（オス）1頭が、本事業地に隣接する県道で轢死している。

なお、本年のイリオモテヤマネコ轢死体の回収数は、すでに4頭にのぼり、そのうち3頭が本事業地周辺で轢死している。周辺における交通事故防止のためには、本残存林の保全と与那良川からのアクセス確保だけでなく、特別な追加的措置が必要である。

そこで、イリオモテヤマネコの交通事故対策として、次のような道路侵入防止フェンスの設置が検討されることを提言する。

(1) 目的

イリオモテヤマネコが、本事業地周辺において、県道をまたいで移動する主要な経路は次のとおりとなっている。

- ・美原の集落周辺に連続または点在する森（県道山側）—道路上を移動—事業地内の本残存林

- ・県道山側のヨナラ川沿い—道路上を移動—事業地内の本残存林

そこで、イリオモテヤマネコの道路上の移動を制限し、本事業地南端では美原集落入口付近に設置されているアンダーパス*を、本事業地北端ではヨナラ川橋下の移動経路を利用するよう、誘導する。

*美原のアンダーパスは、集落入口（由布島の海側バス停）のやや東部寄りに設置されている。

(2) フェンスの配置

- ・本事業地側及び県道を挟んだ山側の両側に設置する。

- ・南端は、美原集落への取付道路手前（山側）、由布島への取付道路手前（海側）とする。

*フェンスは、L字型にひきこんで、イリオモテヤマネコが幹線道路ではなく取り付け道側で横断するよう誘導する。

- ・北端は、与那良橋手前（山、海側）とする。

(3) フェンスの構造

- ・高さ1m以上とする。
- ・路上から抜け出せるよう、ワンウェイゲート状の構造を設ける。
- ・県道の路肩から多少下がった位置に設置して避難場所を作る。

5 結論：提言

以上より、2013年1月8日付「与那良原地区県営経営体育成基盤整備事業について(提言)」末部の提言部分を次のように更新した上、改めて提言を行なう(削除線は削除部分を示し、下線部分は加入部分を示す)。

提言1：与那良原水田と牧草地との間の谷状地形に沿った残存林*の伐採・谷状地形への盛土を可能な限り最大限避け、県道から海岸まで一定の樹林帯が連続する状態を維持すること。

提言2：与那良川の護岸は、イリオモテヤマネコが河床から水田に上がれるよう一部を通路状の緩傾斜とし(30度以下)、さらに護岸の農道沿いに一定の植栽(丈1m以上)を施すこと。

提言3：イリオモテヤマネコは、本事業地利用のためにその南北の区域に接する県道を横断することが多く、その結果ヤマネコが轢死するケースが少なくないことから、上記区域にイリオモテヤマネコの行動を踏まえた道路侵入防止フェンスを設置すること。

提言4：本事業測量設計発注にあたっては、その仕様書に提言1及び2を忠実に特記した上、設計段階において、当会らの推薦する専門家から具体的に配慮すべき事項について助言を受け、設計業務に反映するよう受注業者に指示をすること。

提言5：本事業に伴う工事の期間中、工期の節目、節目でイリオモテヤマネコの現況に応じて工事を柔軟に調整変更するとともに、イリオモテヤマネコの生息状況に交通事故防止対策を徹底すること。

【添付資料】

別表1 美原におけるイリオモテヤマネコのモニタリング結果

別表2 美原におけるヤマネコ目撃情報

別表3 美原におけるモニタリングによる確認生物種

【引用文献】

イリオモテヤマネコ生息地保全調査委員会. 2011. イリオモテヤマネコ生息地保全調査第1次報告書—西表島の土地利用に当たって配慮すべき事項—. NPO法人トラ・ゾウ保護基金. 115pp.
イリオモテヤマネコ生息状況等総合調査～第4次. 2008. 琉球大学.

以上

【別表 1】

| 美原におけるヤマネコモニタリング結果 (調査は自動撮影装置を用いた調査手法に準ずる) | | | | | |
|--|--------------------------------|-----------------------------------|------------------|-----------|------------------|
| ①: 残存林内のモニタリング地点 ②: 美原集落北のモニタリング地点 センサーカメラ点検=誘引剤の設置とデータの回収 | | | | | |
| - : 撮影なし | | | | | |
| *: センサーカメラではなく、林木育種センター職員撮影によるもの。 | | | | | |
| 撮影日\個体名 | ヤマネコの確認場所と時間 | | | センサーカメラ点検 | 備考 |
| | E-108 目の悪い個体、オス | E-109 授乳中のメス | E-110 やや老齢なオス | | |
| 4月24日 | - | ① 19:01~19:25 | - | 有 | |
| 4月25日 | - | - | - | 有 | |
| 4月26日 | - | - | - | 無 | |
| 4月27日 | ② 9:47~9:56 | - | - | 有 | |
| 4月28日 | ② 0:23~0:48 | - | - | 有 | |
| 4月29日 | - | ② 20:56~21:02 | - | 無 | |
| 4月30日 | - | - | - | 有 | |
| 5月1日 | ② 1:04~1:47 ② 20:27~20:29 | ② 21:45~21:48 出産がすみ授乳中であることを確認 | - | 無 | |
| 5月2日 | - | - | - | 無 | |
| 5月3日 | ② 17:05~17:15 ② 20:29~20:30 | - | - | 有 | |
| 5月4日 | ② 0:05 | ② 23:43~23:45 | - | 無 | |
| 5月5日 | - | - | - | 無 | |
| 5月6日 | ② 0:57~1:00 | - | ② 23:39~20:40 | 無 | |
| 5月7日 | - | ② 19:17~19:28 | - | 有 | |
| 5月8日 | - | - | - | - | |
| 5月9日 | - | - | - | - | |
| 5月10日 | ② 1:34~1:35 ② 18:19~18:31 | - | - | 有 | |
| 5月11日 | - | - | - | 無 | |
| 5月12日 | - | - | - | 無 | |
| 5月13日 | ② 15:22 | - | - | 無 | |
| 5月14日 | - | - | - | 有 | |
| 5月15日 | - | - | - | 無 | |
| 5月16日 | - | - | - | 無 | |
| 5月17日 | - | - | - | 有 | |
| 5月18日 | ② 19:05~19:23 | ① 19:32~19:42 | - | 無 | |
| 5月19日 | - | - | - | 無 | |
| 5月20日 | - | - | - | 無 | |
| 5月21日 | - | - | - | 有 | |
| 5月22日 | ② 10:10~10:14 | - | - | 無 | |
| 5月23日 | - | ② 16:32~16:45 ① 18:53~19:00 | - | 有 | |
| 5月24日 | - | - | - | 無 | |
| 5月25日 | - | - | - | 無 | |
| 5月26日 | ② 8:42~8:44 | - | - | 無 | |
| 5月27日 | 育種センター* 17:00頃 | - | - | 無 | |
| 5月28日 | - | - | - | - | |
| 5月29日 | - | - | - | 有 | 林木育種センターに異設置 |
| 5月30日 | ② 19:54~20:04 | ② 9:59~10:04 | - | 有 | |
| 5月31日 | - | ① 13:34~13:45 | - | 有 | |
| 6月1日 | ② 20:09 | ② 13:32~13:37 ① 18:51~19:02 | - | 有 | |
| 6月2日 | ② 6:32~6:37 ② 13:27~14:09 | ① 9:59~10:00 ② 18:35~18:41 | - | 有 | |
| 6月3日 | ② 13:20~13:25 | - | - | 有 | |
| 6月4日 | - | ② 22:00~22:06 捕獲確認 22:32 | - | 有 | この間E108捕獲を試みるが失敗 |
| 6月5日 | ② 3:50~3:55 ② 18:35 | ② 19:45 | - | 有 | E109は即時リリース |
| 6月6日 | ② 16:09~16:27 | ② 1:11~1:13 捕獲確認 1:28 | - | 有 | |
| 6月7日 | - | - | - | 有 | |
| 6月8日 | ② 2:01~2:06 | - | - | 無 | |
| 6月9日 | - | - | - | 無 | |
| 6月10日 | ② 1:12~1:13 ② 12:21 | - | ② 20:24 | 無 | |
| 6月11日 | - | - | - | 無 | |
| 6月12日 | - | - | - | 有 | |
| 6月13日 | ② 8:39~8:44 | - | - | 無 | |
| 6月14日 | ② 12:43 | - | - | 無 | |
| 6月15日 | - | - | - | 無 | |
| 6月16日 | ② 21:35~21:36 | - | - | 無 | ①設置カメラ電池切れ疑い期間 |
| 6月17日 | - | - | - | 無 | |
| 6月18日 | - | - | - | 有 | |
| 6月19日 | - | - | - | 無 | |
| 6月20日 | ① 9:20~9:35 ② 21:44~21:49 | - | - | 無 | |
| 6月21日 | ② 17:22~17:29 ② 18:50~18:51 | - | - | 有 | |
| 6月22日 | - | - | - | 無 | |
| 6月23日 | - | - | - | 無 | |
| 6月24日 | - | - | - | 無 | |
| 6月25日 | ① 11:17~11:28 ② 20:30~20:38 | - | - | 有 | |
| 6月26日 | - | - | - | 無 | |
| 6月27日 | ① 12:07~12:08 ① 20:17 | - | - | 無 | |
| 6月28日 | - | - | - | 有 | |
| 6月29日 | 美原水田 19:00頃 (目撃情報) | - | - | 無 | |
| 6月30日 | - | - | - | 無 | |
| 7月1日 | - | - | - | 無 | |
| 7月2日 | - | - | - | 有 | |
| 7月3日 | ② 22:29~22:34 | - | - | 無 | |
| 7月4日 | - | - | ② 2:08~2:09 | 有 | |
| 7月5日 | - | - | ① 1:40~1:47 | 無 | |
| 7月6日 | ② 21:46~21:47 | - | - | 無 | |
| 7月7日 | - | - | - | 無 | |
| 7月8日 | - | - | - | 無 | |
| 7月9日 | - | - | - | 有 | |

環境省西表野生生物保護センターから提供を受けたデータに加筆・修正

【別表2】

| 美原におけるヤマネコ目撃情報(2013年4月以降) | | | | | | | |
|---------------------------|----------|-------|----------------------------|------------------|--|--|----|
| 月 | 日 | 時刻 | 場所 | 環境 | 行動 | 備考 | 年齢 |
| 4 | 3 | 9:20 | 美原 | 水田、牧場 | - | 捕獲するかどうかセンターに電話がかかかってきた | - |
| | 5 | 12:15 | 古見 ヨナラ(美原) | 水田 | 田んぼのあぜをゆっくりと歩いていた。 | 胴の長さが60cmくらいの大きなヤマネコでイノシシかと思った。 | 成獣 |
| | 7 | 14:15 | 美原 猪狩家の向かいの田んぼ | 水田 | 田んぼ脇の草の茂ったところをすたすたと歩いていた。路線バスから見た。 | - | - |
| | 14 | 19:10 | 美原 自宅前 | 側溝 | 少しうるんだ感じはあったが両目が開いているように見えた。動きは緩慢だが、以前より元気に見える。病気で動きが遅いようには見えない。 | - | - |
| | 16 | 20:30 | 美原 猪狩家前の道路中央 | - | 道路中央に居た。カムリワシかと思った。片目のやつかも。 | - | - |
| | 16 | | 美原 家の後ろ側 | 道路 | - | - | - |
| | 16 前後 | 昼間 | 美原 猪狩家と美原集落の間 | 道 | 山側から海側へ横断した。 | - | - |
| | 22 | 昼間 | 美原 | 水田 | トラクターの陰に居た。田んぼの中に入っていた。3mくらい近寄ってからびっくりして逃げる。一時期元気になっていたが・・・。 | - | - |
| | 24 | 昼間 | 美原 牧場近く | コンクリ上 | 座っていた。3メートルくらい近づいても逃げず、携帯で写真を撮った。目は良くなったように見えるとのこと | - | - |
| | 26 | 17:30 | 猪狩家よりすぐ北のカーブの ところ | - | - | - | - |
| 5 | 1 | 8:00 | 美原 Mさん牛小屋のそば | 牛小屋 コン クリブロック | コンクリートブロックの間に座っていた。 | - | - |
| | 1 | 17:19 | 美原 猪狩家の近く | | 車道から茂みに入っていた。 | - | - |
| | 3 | 8:30 | 美原 猪狩家より西部 | 歩道 | 歩いていた。 | - | - |
| | 8 | 23:37 | 美原 | 県道 | 山側ガードパイプ付近を歩いていた。 | - | - |
| | 9 | 15:30 | 美原 猪狩家付近 | - | - | 1頭 | - |
| | 19 | 20:14 | 電線東線40 美原集落のやや相良より | - | 白浜方面へ走行中、道路中央を歩く仔ネコに遭遇。車に気付く様子もなく徘徊していたため車から降りて近づいたところ、山側に入っていました。 | - | - |
| | 26 | 9:00 | 由布島入口 | - | - | - | - |
| 6 | 1 | 18:20 | 由布島入口 (猪狩家のほう) | 県道 | 道路上 海側の茂みに入っていた。 | - | - |
| | 10 | 6:30 | 美原 水田近くの牛小屋 | 田んぼ 牧場 | 牛小屋西側の石堀のところで休んでいた。 | 目の良い個体 おそらく成獣 | - |
| | 13 | 9:00 | 美原 | - | 由布島の水牛車乗場から外周道路に出るT字路脇の田んぼの中を歩いているところを見た。 | - | - |
| | 24 | 16:00 | 美原 ヨナラ橋から20m高那より | 県道 田んぼ・牧場 | 海側から道路に出てきて車に驚き再び海側へ戻る。 | 仔ネコ | 幼獣 |
| | 25 | 10:00 | 美原 田んぼの中にある牛小屋 | 田んぼ 牧場 | 牛小屋南側の農道脇の草むらに座っていた。 | 少し小さく見えた | - |
| | 26 | 17:38 | 美原 猪狩家より西部より道 路が広がったところ | 道路 | 海側から出てきて、車に気付いて戻ってから、1分くらいじっとしていた | - | 幼獣 |
| | 26 | 19:30 | 美原 猪狩家前県道上 | - | ウロウロしていたが逃げなかった。 | ※E-111 6月26日深夜 交通事故にて死亡 | 幼獣 |
| | 26 | 22:20 | 美原 猪狩家前県道上 | - | 道路上で何か食べていた。 | 追い払うがあまり逃げなかった ※E-111 6月26日深夜 交通事故にて死亡 | 幼獣 |
| | 29 | 19:00 | 美原 | 水田 | 草むらから出てきて、稲刈り後の水田で餌をとっていたのかもしれない | 目の悪いネコ(E-108と思われる)相変わらず痩せていた(以前より痩せたような気がする) | - |

提供：環境省西表野生生物保護センター

【別表3】

| 美原地域での確認生物種 | | | | | イリオモテヤマネコ | | | | | |
|-------------|----------------|----------------|-----------|---|-----------|-------|----|----|------------------------------|--|
| 種名 | 確認方法 | 確認頻度 | 確認場所 | | 備考 | 個体番号 | 性別 | 年齢 | 備考 | |
| | | | ① | ② | | | | | | |
| 哺乳 | イリオモテヤマネコ | カメラ | ○ | ● | ● | E-108 | ♂ | 成獣 | 目の悪い個体 | |
| | リュウキュウイノシシ | 足跡 | ○ | ● | - | E-109 | ♀ | 成獣 | 定住個体 | |
| | クマネズミ | カメラ | ○ | ● | - | E-110 | ♂ | 成獣 | 放浪個体? | |
| 鳥 | セッカ | 目視 | ◎ | ● | ● | E-111 | ♂ | 幼獣 | 恐らくE-109の子ども 6/26 交通事故で死亡 | |
| | キジバト | 目視 | ◎ | ● | ● | | | | | |
| | オサハシブトガラス | 目視・カメラ | ◎ | ● | ● | | | | | |
| | リュウキュウツバメ | 目視 | ◎ | ● | ● | | | | | |
| | インガキヒヨドリ | 目視 | ◎ | ● | ● | | | | | |
| | ゴイサギ | 目視 | ○ | ● | ● | | | | 幼鳥(ホシゴイ)確認 | |
| | リュウキュウヨシゴイ | 目視 | ○ | ● | - | | | | | |
| | カンムリワシ | 目視・カメラ | ○ | ● | ● | | | | 若鳥1、成鳥1 | |
| | オオクイナ | カメラ | ○ | ● | ● | | | | | |
| | シロハラクイナ | 目視・カメラ | ○ | ● | - | | | | | |
| | アカシウビン | 目視 | ○ | ● | ● | | | | 声のみを含む | |
| | トバト | 目視 | △ | ● | - | | | | レースバト | |
| | カエルsp | 目視 | ○ | ● | - | | | | オタマジャクシを含む | |
| | 両 | サキシママダラ | カメラ | ○ | ● | - | | | | |
| サキシマキノボリトカゲ | | 目視 | △ | - | ● | | | | おそろくメス | |
| 爬 | セマルハコガメ | カメラ | △ | - | ● | | | | 大人の拳大以上のサイズ | |
| | ハゼsp | 目視 | ○ | ● | - | | | | | |
| 魚 | カニsp | 目視 | ◎ | ● | - | | | | | |
| | スジグロカバマダラ | 目視 | ◎ | ● | ● | | | | | |
| 甲 | リュウキュウアサギマダラ | 目視 | ◎ | ● | ● | | | | | |
| | オオジョロウグモ | 目視 | ◎ | - | ● | | | | | |
| | コガネグモ | 目視 | ◎ | - | ● | | | | | |
| | トンボsp | 目視 | ◎ | ● | - | | | | | |
| | 虫 | オキナワチョウトンボ | 目視 | ○ | ● | - | | | | |
| | | ウラナミシジミ | 目視 | ○ | ● | ● | | | | |
| | | ヤエヤマカラスアゲハ | 目視 | ○ | - | ● | | | | |
| | | シロオビアゲハ | 目視 | ○ | - | ● | | | | |
| | | オオゴマダラ | 目視 | ○ | - | ● | | | | |
| | | ジャノメsp | 目視 | △ | ● | - | | | | |
| | | 凡例 | | | | | | | | |
| | ◎: 定期点検で毎回確認する | ○: 定期点検で時々確認する | △: 1~2回確認 | | | | | | | |

環境省西表野生生物保護センターから提供を受けたデータに加筆・修正